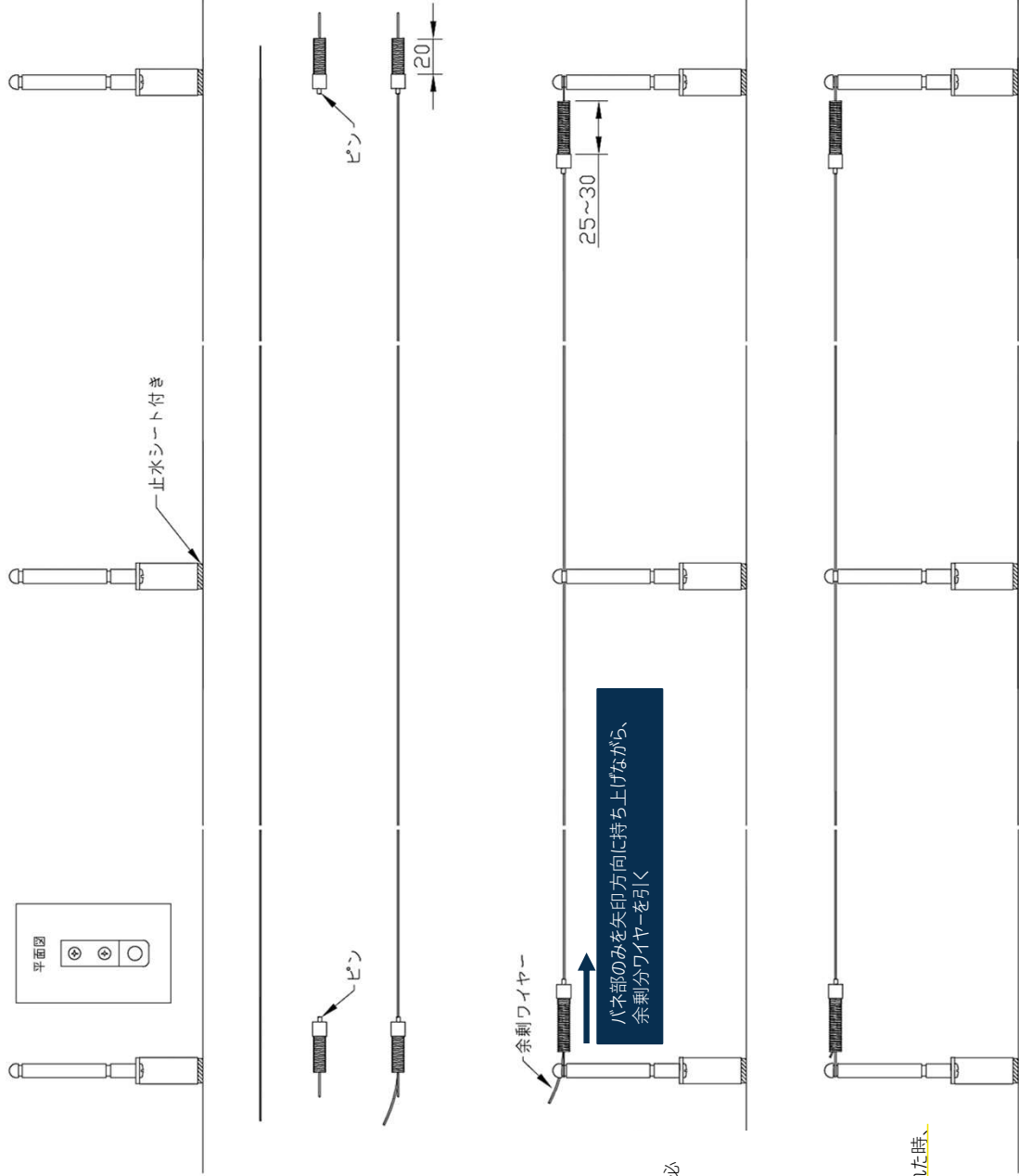




施工手順書_パターン②

UBWM□-ル、UBWM-B□-ル (φ0.8) × バネグリップ × 支柱 UBS-T0、UBS-T0 B、UBS-T0 D



① 支柱をビスで固定する (間隔は@2m推奨)
支柱は構造物先端から30～40mm内側に設置します。
(下地によって異なる為、ビスは付属しておりません)
※ 必要に応じてビス頭部の止水 (コーキング)を行って下さい

② 支柱間+100mm程度でワイヤーをカットします

③ ワイヤーグリップのピンからワイヤーを挿入します
(片側は引張り代を出す)

④ 両方のワイヤーグリップ付きバネを支柱溝に引っ掛けて
片方のグリップ付きバネから出た余剰部を引いてテンションを掛ける
(概ね0.5kg)
※ 全長20mmのバネが30mmになる程度
バネの伸び具合は、あくまで目安であり、施工時バネ長を計測する必
要はございません。
(ロックを解除する場合はピンを押ししてください)

⑤ 余剰ワイヤーをカットする (または丸めて留めておく)

※ ワイヤーをピンに張り過ぎないで下さい。
ワイヤーを張り過ぎると、端が止まってしまうので、ワイヤーに触れた時、
適度にワイヤーが沈み込む程度が理想です。